

辰巳用水修景整備事業について

整備状況（金沢美術工芸大学周辺）



整備前（令和3年度）



整備後（令和3年度）

○整備概要

辰巳用水と新キャンパスとの一体的な景観の創出を図るため、既設のコンクリート護岸を石積にて修景整備を行うことで、歴史と伝統を感じさせる用水景観を創出する。

○令和4年度整備区間における方針

- ・良好な石積や古い水門を保全



- ・既存の石材は、積み直しして再利用



西外惣構跡(宮内橋遺構) 石積復旧工事について

西外惣構跡(宮内橋遺構)石積復旧工事について

位置図と現地写真



西外惣構跡(宮内橋遺構)石積復旧工事について

状況写真



〔原因〕 石積背後にある樹木の根

①上段石積



②下段石積



西外惣構跡(宮内橋遺構)石積復旧工事について

試掘調査の結果

①上段石積について

- 背面の出土品から推測すると、石積は近代以降につくられたと考えられる



②下段石積について

- 背面の出土品から推測すると、石積は近代以降につくられたと考えられる
- 下段石積の背面、上段石垣直下から旧石積が出土した
→年代は不明だが、上段・下段石積よりも古い年代と考えられる

西外惣構跡(宮内橋遺構)石積復旧工事について

復旧方法

- ・石積は近代以降につくられた可能性が高いが、惣構の痕跡と利用変遷を伝える大切な遺構である
⇒石積を外して影響する根を切断後、コンクリートを使用しない空積にて復旧



下段石積 根の状況



下段石積 復旧完了

(上段石積復旧完了は12月中、桜の後継木の植樹は3月中を予定)

令和4年8月3日～4日発生豪雨に伴う 長坂用水の被災状況について

被災概要



令和4年8月3日～4日にかけて豪雨が発生し、金沢市では南部地区を中心に災害が発生した。

60分最大雨量 106mm
3日21時からの24時間雨量421mm
(菊水観測所)

保全用水「長坂用水」の被害

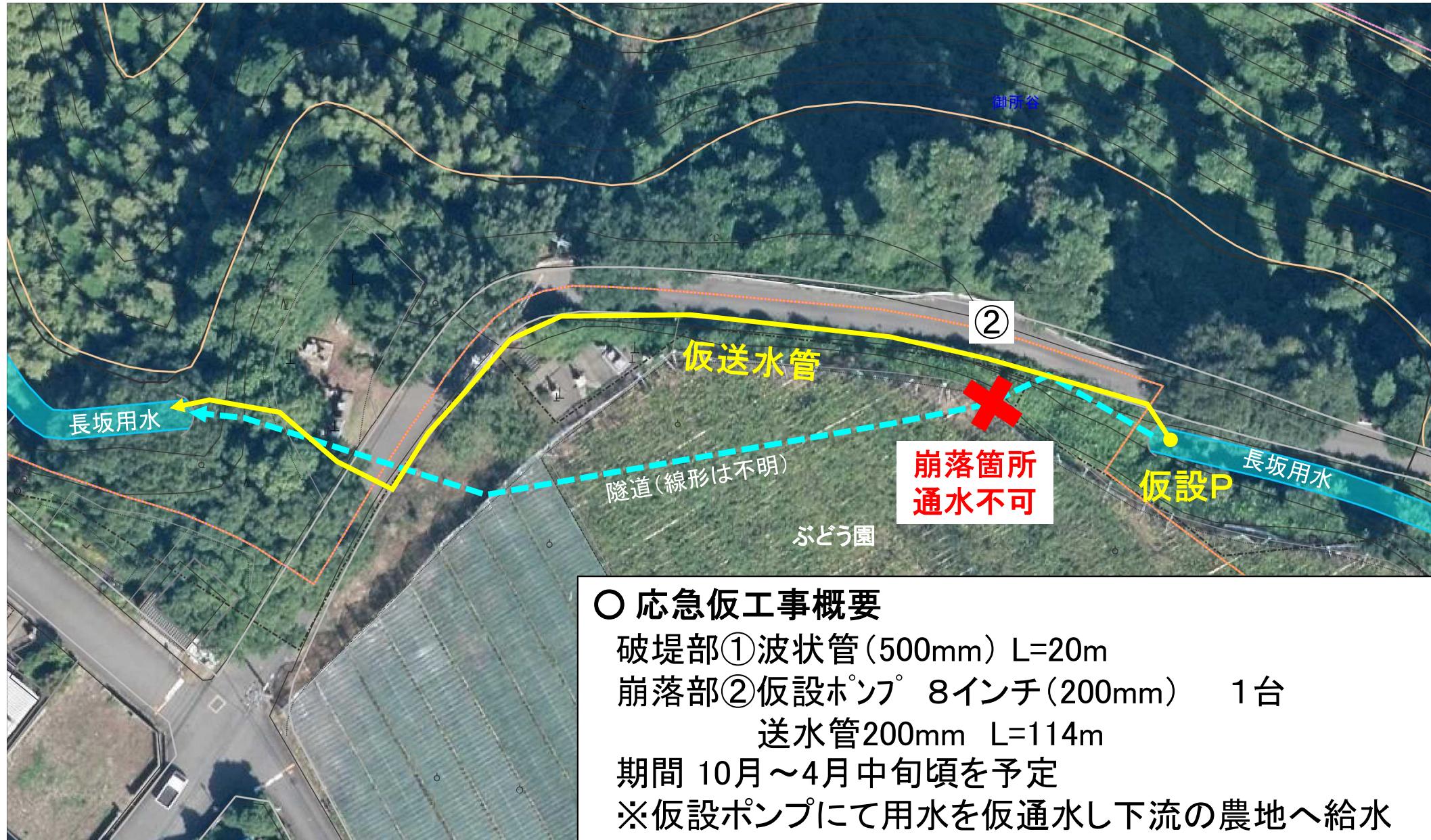
①土水路破堤
 $L = \text{約}5.0\text{m}$

②隧道内天井崩落
隧道内寸 $W = \text{約}1.2\text{m}$ $H = \text{約}1.1\text{m}$
崩落延長 $L = \text{約}4.0\text{m}$ (素掘り区間)

被災状況



応急仮工事



仮通水状況

① 破堤部波状管設置状況



② 発電機と送水管設置状況



① 破堤部に波状管500mmを設置し自然通水を確保

② 仮設ポンプ200mmにより強制送水し、崩落部を迂回して通水



冬場の農業用水を確保

② 水中ポンプ設置状況



② 送水管設置状況



② 下流通水状況

